

信濃町商工会管内景気動向

【令和2年度第Ⅲ四半期 R2年10月～12月】調査報告書

調査の趣旨

企業を取り巻く経営環境の変化に対応する為、地域産業振興施策と事業者支援施策の為景気動向について調査を実施

調査方法

期間：2021年1月13日～1月31日

対象：信濃町商工会会員 315人

方法：アンケート用紙郵送による 手回収及びFAXによる回収

調査結果概要

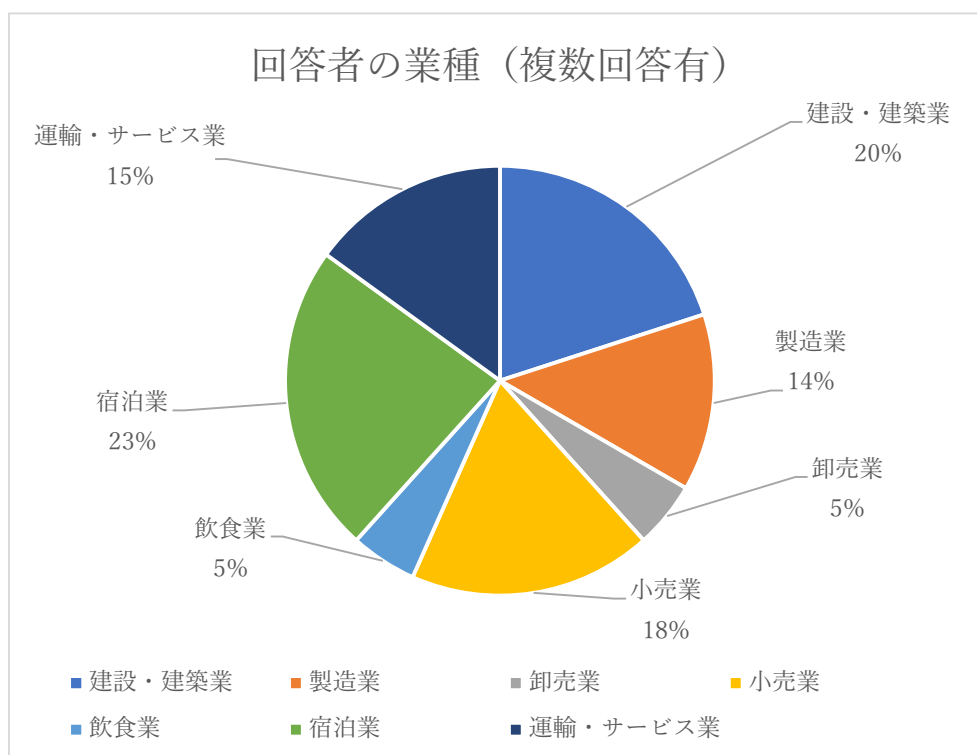
前年シーズン【2019年10月～12月】では10月13日の『令和元年台風19号』の被害で停電の影響による休業や風評被害での来客数が減少していた。

深刻であった前年シーズンと比較して、減少している事業者は48.3%の事業者が減少しており、変化なしと併せて70.7%の事業者が昨シーズンに引き続き厳しい状況に置かれている。

調査内容詳細

回答者の業種

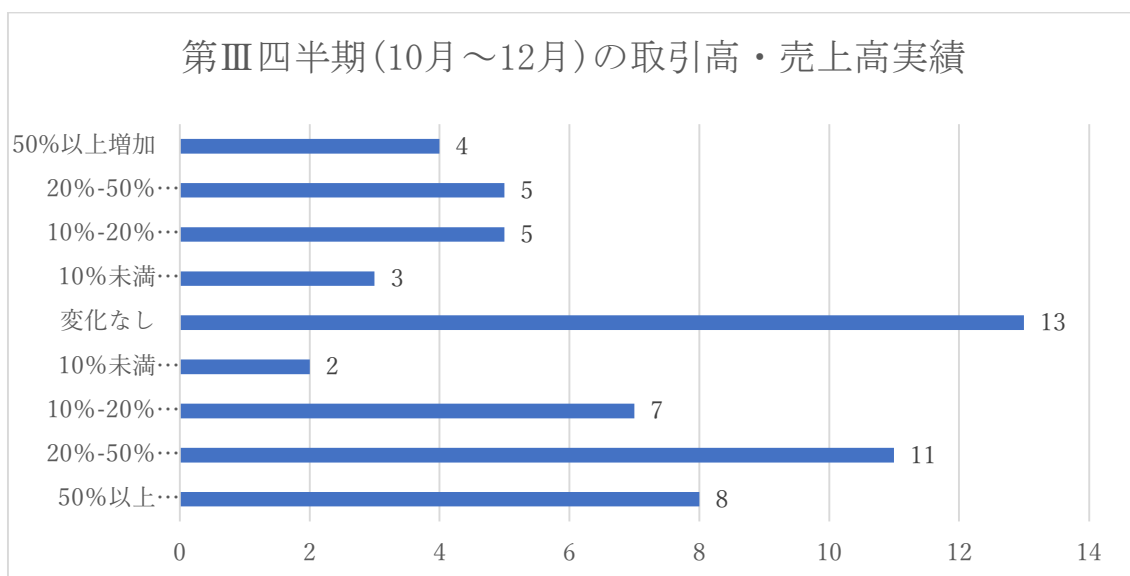
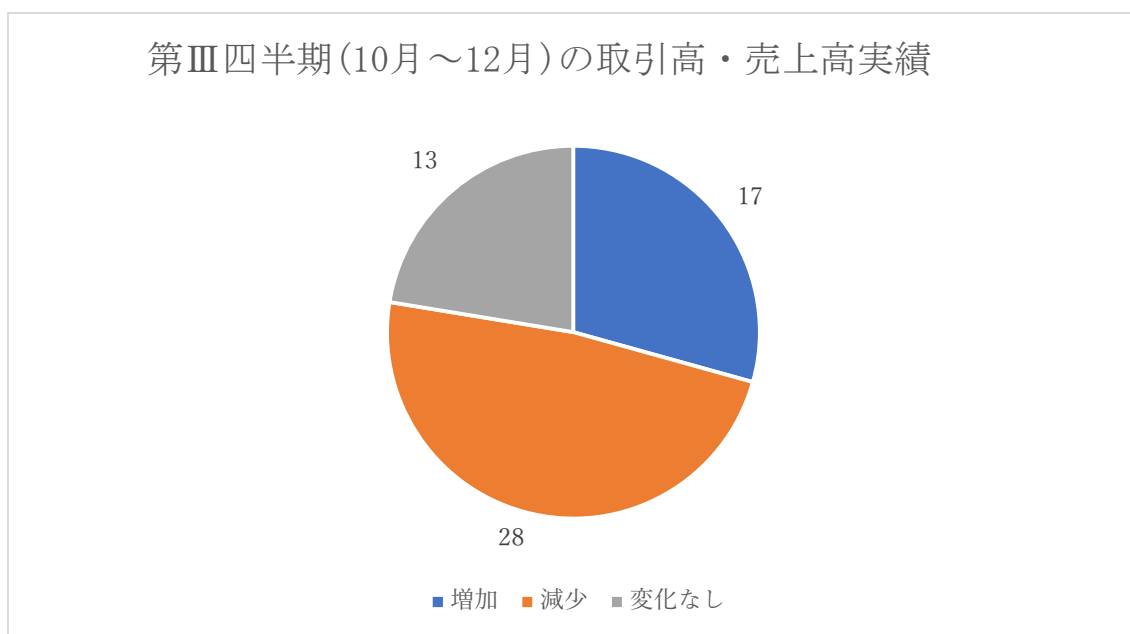
回収アンケート数 計 58件 業種合計 計 64件（複数回答有）



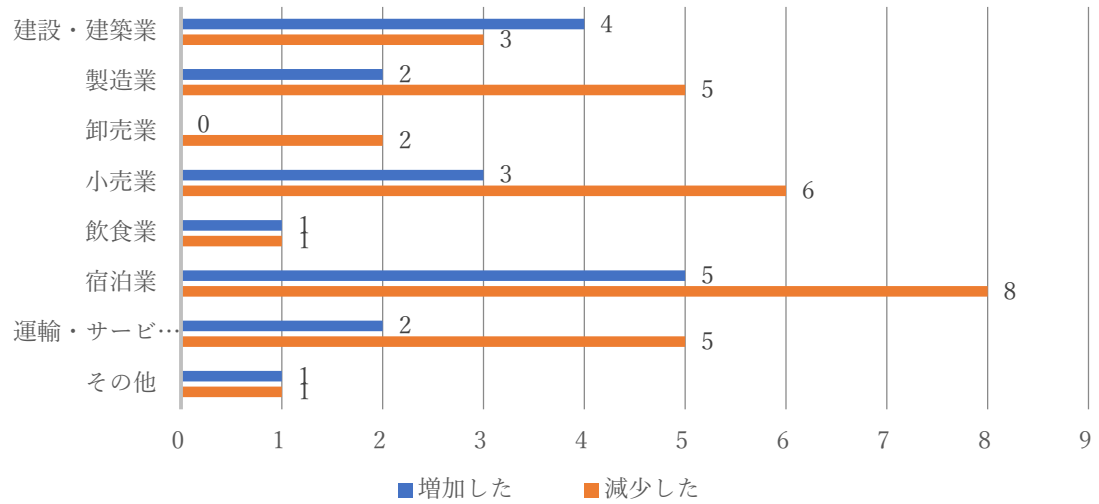
1 前年同期に比べて第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の取引高・売上高実績について

第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の取引高・売上高実績は、回答頂いた29.3%の事業者が増加、51.7%の事業者が減少、19%の事業者が変化なしと回答している。

また、業種別の増加と減少を比べると、宿泊業者が減少したと回答した割合が多く、次点小売業者、製造業が続いている。

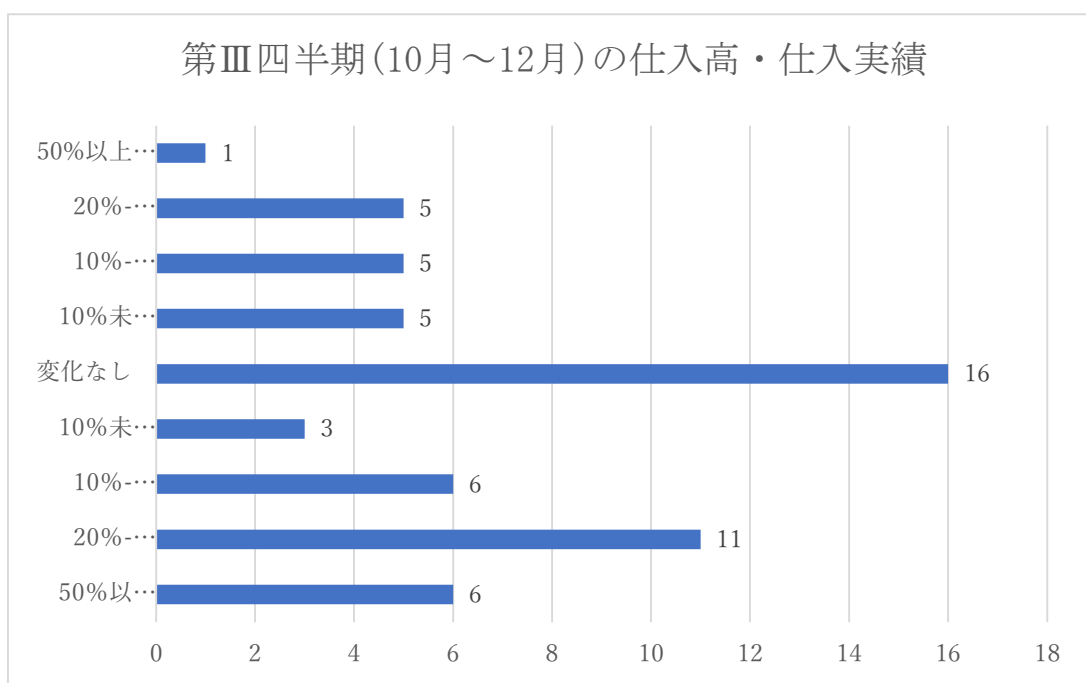
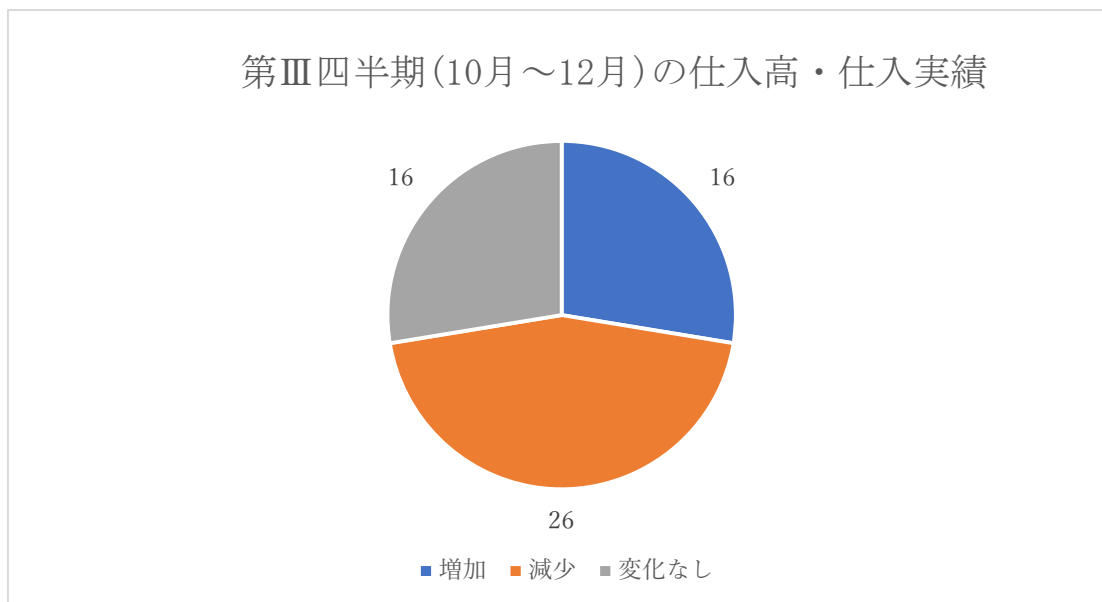


第Ⅲ四半期(10月～12月)の取引高・売上高実績



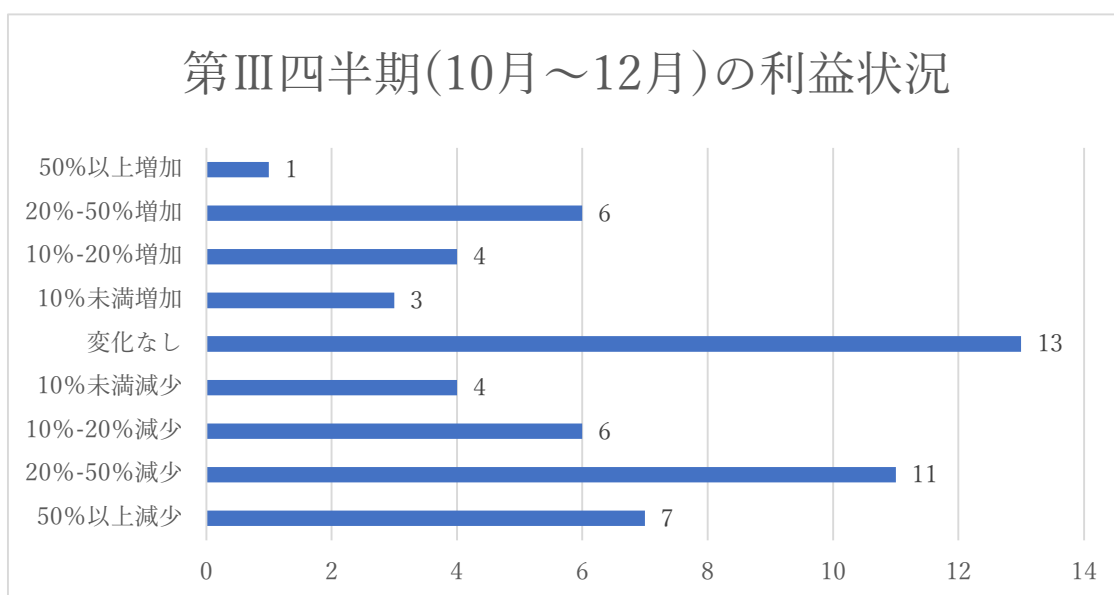
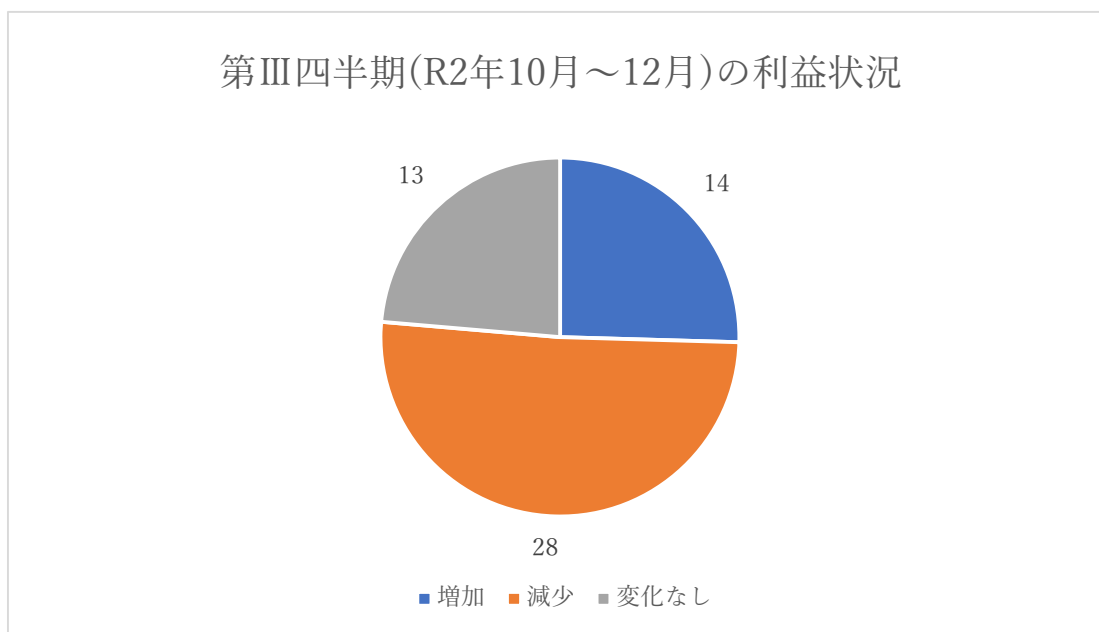
2 前年同期に比べて第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の仕入高・仕入実績について

第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の仕入高・仕入実績は、回答頂いた27.6%の事業者が増加、44.8%の事業者が減少、27.6%の事業者が変化なしと回答している。



3 前年同期に比べて第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の利益状況について

第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の利益状況は、回答頂いた25.5%の事業者が増加、50.9%の事業者が減少、23.6%の事業者が変化なしと回答している。

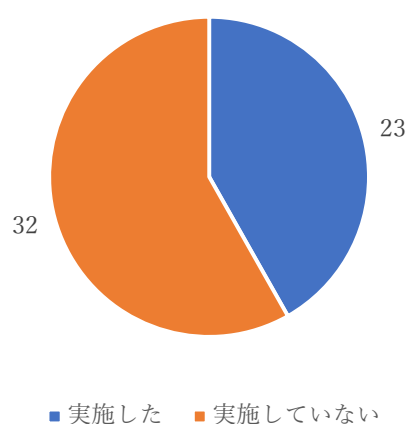


4 第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の新規設備投資について

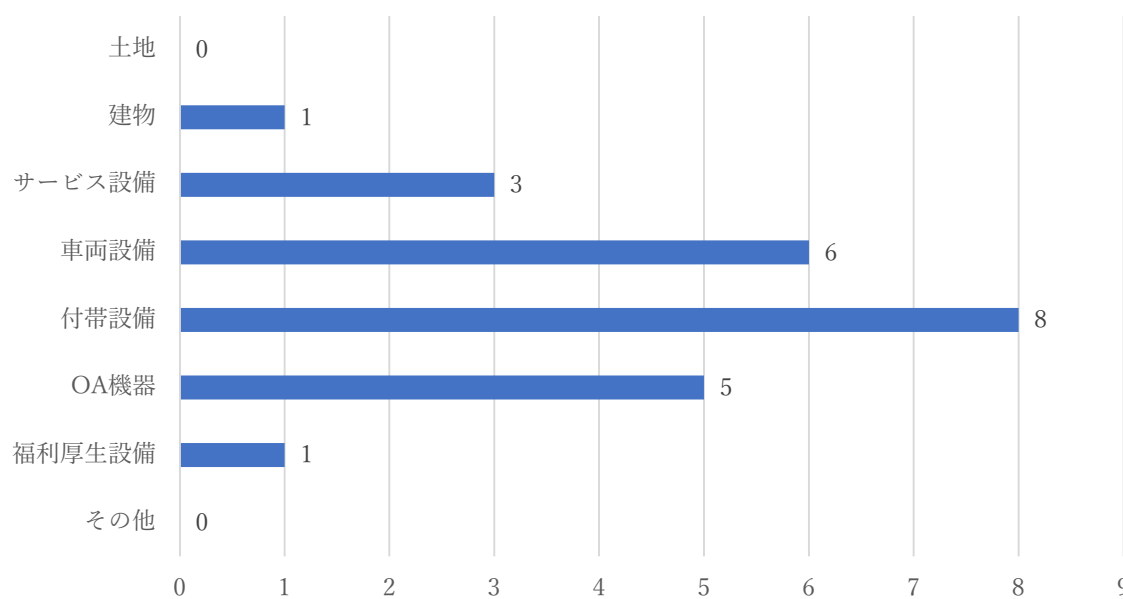
第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の新規設備投資実施状況として、41.8%が実施しており、58.2%が実施していないと回答を頂いた。

投資した内容として、一番多かったのが付帯設備、次いで車両設備となっている。

第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の新規設備投資実施状況

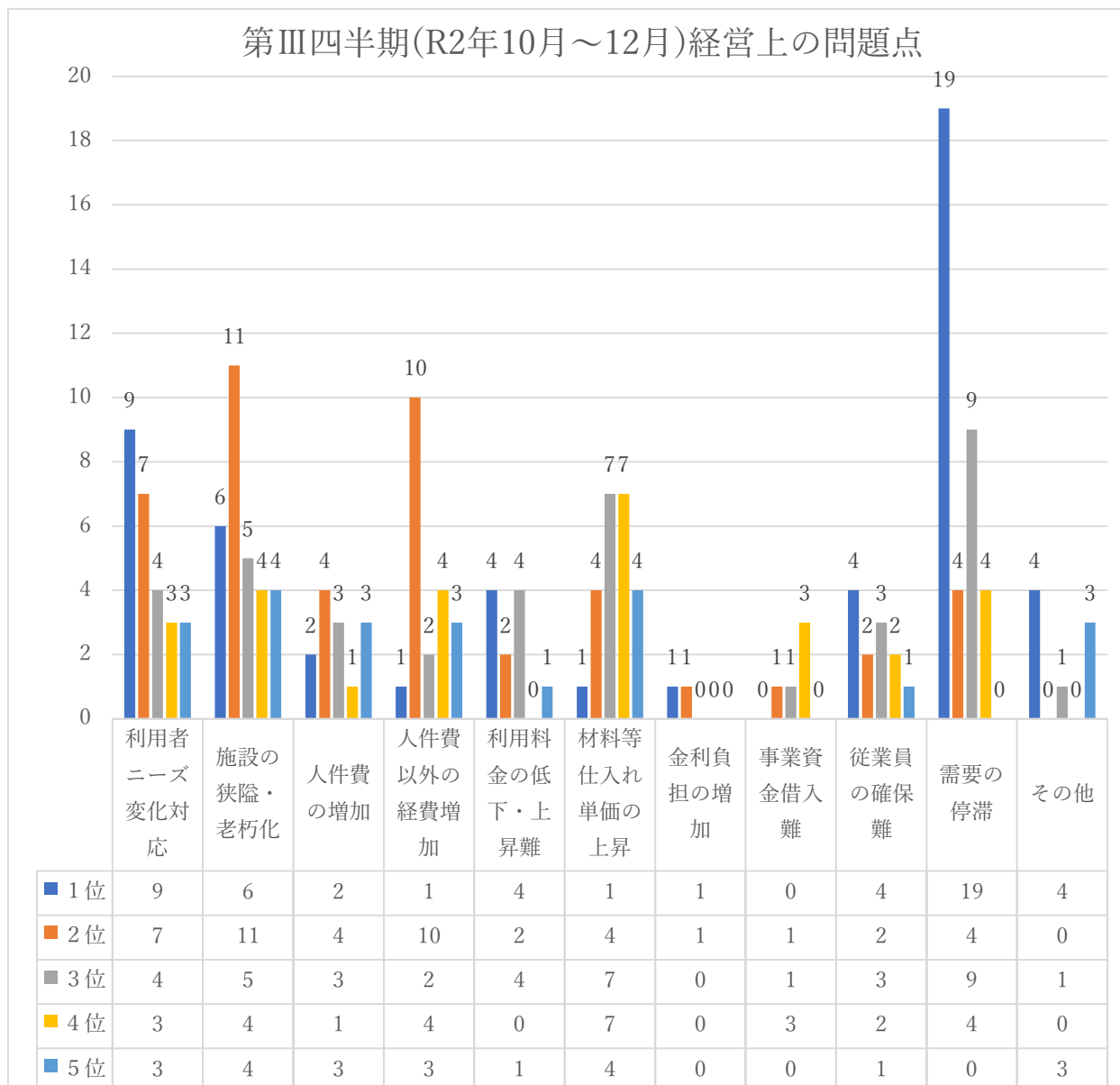


第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)の新規設備の内容



5 第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)直面している経営上の問題点

第Ⅲ四半期(R2年10月～12月)に直面している経営上の問題点として一番多く認識されたのが『需要の停滞』次いで挙げられたのが、『利用者ニーズ変化対応』であった。



以下【その他】であげられた回答を原文のまま掲載しております。

業種	自由記載
宿泊業	忙しい
未記入	利用者激減
飲食業	コロナ感染症による人の流れの停滞
製造業	特になし
宿泊業	コロナ
宿泊業	新型コロナによって休業状態